

香川大学教育学部附属坂出中学校で

授業見学 を実施しました

12月1日、教育創造コースの2年生が、香川大学教育学部附属坂出中学校で、社会「2040年に町を維持するためには？」理科「なぜアルミの方が温度が上昇するのか」の授業を見学しました。感染対策のために廊下からの見学になりましたが、生徒が主体的に活動する授業を見学する貴重な体験となりました。



【生徒の感想】

どちらの授業でも先生が作り出す「授業」という雰囲気がすごかったです。

理科でも社会でもパワーポイントを使ったりビデオを流したりしていたのが印象的でした。

おもしろい授業とはどんなものか、わかりやすい授業はどのようなものかを考えていきたいと思います。

長期的に見通しを立てながら次につなげた授業をすることも重要だと分かった。

将来社会の先生になりたいので、とても勉強になりました。

先生は予想していなかった意見や対立している意見があったときの対応力が必要だなと感じました。

この授業のために100時間以上もかけて準備したと聞いて、先生の生徒への熱意が伝わってきた。

理科の授業で熱湯をこぼすハプニングがあって、その時に周りの生徒や先生が冷静に対処していたのでさすがだなと思いました。

座学で覚えさせる授業ではなく、疑問→検証→根拠のステップを意識し、全員が考える授業だった。

理科では自分達が今やっているmolをやっていたり、白衣を着て実験をしていたりして羨ましかった。

本日は、ありがとうございました。これで今年度の附属中学校への訪問は最後になります。また来年度もよろしくお願いいたします。